

ツシマヤマネコの出産について

令和4年7月6日（水）に、ツシマヤマネコの赤ちゃん3頭が生まれました。母親は「妃（ひめ）」、父親は「チョビ」で、性別は現時点では不明です。赤ちゃんの誕生により、福岡市動物園で飼育しているツシマヤマネコは、10頭となりました。ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、環境省と（公社）日本動物園水族館協会が「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づいて取り組んでいます。

<ツシマヤマネコの赤ちゃんの誕生の経緯>

令和4年7月6日（水）午後1時12分に1頭目、午後2時23分に2頭目、午後2時57分に3頭目を自然分娩にて出産しました。今回出産したメスは5回目の出産です。

3頭の子ネコは母乳を飲むなど、子ネコ、母ネコともに元気に過ごしています。

妊娠から出産にあたり、岐阜大学 応用生物科学部 動物繁殖学研究室 楠田 哲士 准教授の協力を得て、性ホルモン検査を実施しています。

（両親）

個体No.	愛称	性別	年齢	入園年月日	備考
No.74	妃（ひめ）	メス	7歳（推定）	平成27年11月27日	平成27年6月20日 野生保護
No.96	チョビ	オス	不明 （野生保護）	令和4年1月29日	令和3年5月30日 野生保護

なお、福岡市動物園は、ツシマヤマネコの難産時の体制を強化するため、一般社団法人福岡市獣医師会（東田 周三 会長）と協定を締結しています。

※子育て中の母ネコはちょっとした物音に反応して育児放棄することがあります。子ネコの安全確保のため、園内での撮影、取材の対応は致しかねますのでご了承ください。また、子ネコの公開については未定です。

<参考：ツシマヤマネコについて>

食肉（ネコ）目 ネコ科

体長：50～60cm

体重：3～5kg

平均寿命：野生では推定6～9年、飼育下では約15年

野生分布：長崎県対馬市のみ

産仔数：1～3頭

ワシントン条約：附属書Ⅱ

IUCN レッドリスト：絶滅危惧ⅠA類



3頭が母乳を飲んでいる様子（7月6日午後7時50分頃）